



加吉だより

加古小学校通信
令和6年1月号
No.35 (351号)

「チーム担任制」の成果と課題を報告！

～取組の成果①～

校長 吉田 博明

昨年度から取り組んできた「加古小学校チーム担任制」。昨年10月31日に開催した研究発表会には、加古小学校単独の研究発表会だったにもかかわらず、全国各地から合計109名もの方々が来てくださいました。その後も、視察やZoomでのオンライン会議など全国の方々に加古小学校の取組を紹介しています。

遅くなりましたが、加古小学校や地域の方々にも1年半取り組んできてわかった成果と課題について、発表会のスライドを使って報告させていただきます。

<何と言っても学級が安定する！>

加古小学校がチーム担任制に取り組む理由は、「学級崩壊から児童を守るため」です。一番の成果は、何と言っても「学級崩壊の危険性が減少していること」です。取り組み始めた昨年度初めから、どの学級も非常に安定した状態が続いています。学級担任一人だけでなく、多くの教師の目で子どもたちを見守ることができているからです。また、一週間で学級担任が交替していくので、どの学級も平均的な質の指導をすることができます。「あの学級の担任の先生はこうしてくれるのに、自分の学級の担任の先生はしてくれない」という差が生じないため、児童の中に、担任の先生による差への不満も生まれません。

また、A先生がちょっと失敗しても、その後のB先生やC先生がカバーすれば大丈夫！大きな失敗になる前に、みんなでカバーし合うことができます。そういう意味でも一週間で交替することは、問題を早期に発見、解決できる最適な期間だと考えます。

<アンケート結果も向上してきた！>

以前の学校だよりでもお伝えした保護者や児童アンケートの結果。昨年度末（令和5年3月）の結果と比べて、少しずつ向上してきました。保護者の方の結果も、肯定的な意見が約6割から約8割に増えてきました。1、2年生保護者の方の結果もほぼ8割が肯定的な意見でした。これまで保護者の誰も経験したことのないシステムですから、我が子がどうなるか不安に思われても仕方ありません。実際に取組を見て、「まあまあいいかも」と、少しずつ信頼していただけてきたのかなと感じています。さらに良い取組にしていきます！

